

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
調剤薬局事務 Pharmacy Clerical Work		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		メディカルークユニット履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求実務演習Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
請求実務演習Ⅲ 電子カルテユニット				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子		非常勤講師室	月・木の9時～16時（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
保険医療制度において患者様に対する投薬は、保険医療機関と保険薬局の二通りがある。この講義では、保険医療機関の保険医が交付した処方せんを、保険薬局の保険薬剤師が処方するシステムを学び、調剤請求事務の習得を図る。				
授業の目標				
①調剤薬局における受付業務を修得できるようにする。 ②調剤報酬明細書を作成できるようにする。 ③保険薬局が取り扱う処方せんを正しく算定できるようにする。				
授業の方法				
医療機関で発行される処方せんを確認しながら調剤費の計算を行い、調剤報酬明細書を手書きとPCで作成する。				
学習の成果（学習成果）				
①調剤薬局における受付業務が修得できる。 ②調剤報酬明細書を作成できる。 ③保険薬局が取り扱う処方せんを正しく算定できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	調剤報酬とは			
第3回目	調剤報酬明細書に必要な保険情報			
第4回目	医療従事者として必要な患者接遇マナー			
第5回目	薬学の基礎知識Ⅰ（作用と副作用）			
第6回目	薬学の基礎知識Ⅱ（特定疾患の患者によく使われる薬）			

第7回目	調剤報酬算定に必要な薬剤計算・保険医療材料の算定方法 (小テスト ①)
第8回目	処方せんの記載と保険薬局での取り組みについて
第9回目	調剤報酬点数表と調剤録作成
第10回目	公費負担の調剤報酬明細書 (生活保護法)
第11回目	公費負担の調剤報酬明細書 (感染症の患者等)
第12回目	調剤報酬明細書作成 手書き
第13回目	調剤報酬明細書点検 (小テスト ②)
第14回目	調剤報酬明細書作成 PC ①
第15回目	調剤報酬明細書作成 PC ②

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	授業に集中して取り組むことができる。 わからないところは積極的に質問してくる。
レポート		
調査報告書		
小テスト	25%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	25%	学年末試験を実施し、授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

医科スタディブック1 (ニチイ学館) 調剤薬局事務講座テキスト (ニチイ学館) ハンドブック (ニチイ学館) 早見表 (医学通信社) 薬価表 (ニチイ学館)

履修上の留意点・ルール

毎時間、講義 (説明) と実技 (演習) を繰り返し行うので積極的な授業参加が望ましい。
医療事務 (医科) の応用の要素が強いので、医療事務 (医科) の授業を履修し、投薬料 (薬剤料) の計算を理解していることが必須である。
電卓を必ず用意すること。